

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

事業コード	32202201			
事務事業名	優秀選手強化育成・派遣事業			
予算書の事業名	14. 選手強化育成事業、15. 優秀選手派遣事業			
事業期間	開始年度	平成4年度以前	終了年度	当面継続
実施方法	○ 1. 指定管理者代行	● 2. アウトソーシング	● 3. 負担金・補助金	● 4. 市直営

部・課・係名等	コード1	08030300
部名等	教育委員会事務局	
課名等	生涯学習・スポーツ課	
係名等	スポーツ係	
記入者氏名	片山伸二	
電話番号	0765-23-1046	

政策体系上の位置付け	コード2	322022
政策の柱	第3章 人・文化を育むまち	
政策名	第2節 地域に根ざした文化とスポーツの振興	
施策名	2. 生涯スポーツ社会の推進	
区分	競技スポーツの推進	
基本事業名	ジュニア期からの一貫指導体制の推進	

予算科目	コード3	001100601
会計	一般会計	
款	10. 教育費	
項	6. 保健体育費	
目	1. 保健体育総務費	

◆事業概要 (どのような事業か)	単位	実績		計画				
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
<p>○選手強化育成事業：優秀チームの招聘、県外遠征、ジュニア期からの育成指導などを行い、競技力、指導資質の向上を図る。                      ①体育協会に委託(ジュニア育成 県外遠征 国体出場選手奨励 全国大会等招聘 指導者講習) ②県駅伝関係業務(選手選考 会議 大会参加 結団式)                      ○優秀選手派遣事業                      ①国、県及び魚津市を代表してスポーツ大会に出場する選手等に対して、「魚津市優秀スポーツ選手派遣事業奨励金交付要綱」に基づき奨励金を支給                      ②中学校体育連盟が主催するスポーツ大会に出場する中学生選手に対し、派遣等に係る経費の一部を補助</p> <p>(その他：社行会の開催)</p>								
<p>対象 (この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) 市在住の競技スポーツ選手</p>	対象指標	① 市在住スポーツ選手数(体協会員数より)	人	8,710	8,700	8,800	8,850	8,900
<p>手段 &lt;平成21年度の主な活動内容&gt;                      ○選手強化育成事業：①体育協会に委託(ジュニア育成 県外遠征 国体出場選手奨励 全国大会等招聘 指導者講習) ②県駅伝関係業務(選手選考 会議 大会参加 結団式) ○優秀選手派遣事業：①国、県及び魚津市を代表して大会に出場する選手等に対して奨励金を支給 ②中学校体育連盟が主催する大会に出場する選手に対し、派遣等に係る経費の一部を補助 ③社行会の開催                      ＊平成22年度の変更点                      変更なし</p>	活動指標	① 選手強化事業の実施数 ② 奨励金支給人数 ③ 中体連スポーツ大会出場人数(県体除く県大会以上)	回 人 人	12 363 304	10 338 381	15 380 320	15 380 320	15 380 320
<p>意図 (この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) ・競技スポーツ選手の技術、能力向上 ・優秀な成績を挙げ、全国大会等に出場する</p>	成果指標	① 全国大会出場者数 ② 国際大会出場者数 ③ 県駅伝大会の順位	人 人 位	189 1 5	143 2 5	200 5 3	200 5 3	200 5 3
<p>その結果 &lt;施策の目指すすがた&gt; 競技スポーツの感動が、まちに活力を与える</p>		↑ 成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入						
<p>◆この事務事業開始のきっかけ(何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 開始時期：不明 競技力の向上には、優秀な指導者派遣、選手の遠征・大会出場等で多くの経費が必要とされ、そのための助成方法として事業が開始された。また、市内選手の全国大会等での活躍による感動は、市民社会、青少年教育など多方面にわたって好影響を与えることも事業開始の目的とされる。</p>	財源内訳	(1)国・県支出金 (2)地方債 (3)その他(使用料・手数料等) (4)一般財源 A. 予算(決算)額(①～④の合計)	(千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	0 0 448 3,032 3,480	0 0 448 3,862 4,310	0 0 363 3,908 4,271	0 0 363 3,908 4,271	0 0 363 3,908 4,271
<p>◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など) 体育協会を中心としたスポーツ指導体制が整ってきた</p>		①事務事業に携わる正規職員数 ②事務事業の年間所要時間 B. 人件費(②×人件費単価/千円) 事務事業に係る総費用(A+B) (参考)人件費単価	(人) (時間) (千円) (千円) (円/時間)	2 280 1,177 4,657 4,205	2 280 1,177 5,487 4,205	2 280 1,177 5,448 4,205	2 280 1,177 5,448 4,205	2 280 1,177 5,448 4,205
<p>◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入) ・議会から奨励金の増額 ・競技団体から交付対象の拡大</p>	◆県内他市の実施状況	● 把握している ○ 把握していない		(把握している内容又は把握していない理由の記入欄) 県内各市の奨励金の支給状況：奨励金の種類、支給対象、金額などは把握しているが、選手強化育成事業については、各市の実施方法等がまちまちのため比較検討はしていない。				

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【2枚目】

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直結度 (事務事業の施策の目指すがたに対する直結度 (対象・意図の密接度) とその理由説明)	
<input checked="" type="radio"/> 直結度大 <input type="radio"/> 直結度中 <input type="radio"/> 直結度小	説明 魚津市選手の全国大会等での活躍は、市民に大きな感動を与え、社会生活をはじめ青少年教育など各方面にわたり良い影響をもたらすものと考えられる。
2. 市の関与の妥当性 (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)	
<input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている <input type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) のため、市による実施が妥当 <input checked="" type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小 (廃止) が妥当 <input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当	
根拠法令等を記入	
3. 目的見直しの余地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明)	
なし	説明 現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地 (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明)	
あり	説明 競技力の向上 全国大会出場選手の増加 体育協会及び加盟団体が「選手育成プラン(仮称)」を策定し、実践する派遣事業の、激励金、中学生選手派遣助成は現状維持
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	
なし	説明 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業はない。

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 <input type="radio"/> 選手強化育成事業: 事業費の減額 ~H18: 1,000千円 → H19: 900千円 → H20: 800千円 → H21: 760千円と毎年削減されており、事業推進を図るに当たっては削減の余地は無い。
7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 <input type="radio"/> 選手強化育成事業 : 主となる業務は体育協会へ委託 <input type="radio"/> 優秀選手派遣事業 : 激励金交付事務、社行会開催のみ 上記2点のとおり最低限の事務量のため削減の余地はなし。

【公平性の評価】

8. 受益者負担の適正化の余地 (過去の見直しや社会経済状況等から)	
特定受益者あり・負担あり	説明 <input type="radio"/> 選手強化育成事業 : 単位団体が実施する育成経費の一部を補填するものであり、競技力向上に向けて市が率先して取り組む事業 <input type="radio"/> 優秀選手派遣事業 : 全国大会等の出場に係る経費の一部を補助する
適正化の余地なし	
9. 本市の受益者負担の水準 (県内他市と比較し、今後のあり方について説明)	
<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 低い	説明 県内の他市の状況は同様なのである

【必要性の評価】

10. 社会的ニーズ (この事務事業にどれくらいのニーズがあるか)	
<input type="radio"/> 全国的又は広域的な課題であり、ニーズが非常に高い <input type="radio"/> 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い <input type="radio"/> 比較的多くの市民などがニーズを感じている <input checked="" type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがある <input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがあるが、それが減少しつつある <input type="radio"/> 目的はある程度達成されている <input type="radio"/> 上記のいずれにも該当しない	
11. 事務事業実施の緊急性	
<input type="radio"/> 緊急性が非常に高い <input type="radio"/> 緊急に解決しなければ重大な過失をもたらす <input type="radio"/> 市民などのニーズが急速に高まっている <input checked="" type="radio"/> 緊急性は低いが、実施しなければ市民生活に影響が大きい <input type="radio"/> 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない	

★ 評価結果の総括と今後の方向性

1) 評価結果の総括	
① 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり
② 有効性	<input type="radio"/> 適切 <input checked="" type="radio"/> 成果向上の余地あり
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり
④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり
2) 今後の事務事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状のまま (又は計画どおり) 継続実施 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止	
<input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携 <input type="radio"/> 目的見直し <input checked="" type="radio"/> 事務事業のやり方改善	

★改革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと成果の方向性
実施予定時期	次年度 (平成23年度)	現状を基本として実施 コストの方向性 維持
	中・長期的 (3~5年間)	<input type="radio"/> 選手強化育成事業 魚津市の実情に即した「一貫指導プログラム」の策定 成果の方向性 向上

★課長総括評価 (一次評価)

選手強化育成事業は、これまでどおり体育協会に委託し、強化策を図るとともに、優秀選手派遣事業については、当面は19年度に改正した激励金支給要綱に基づき選手の支援を行って行きたい。	二次評価の要否
	不要